

町政懇談会の記録

	地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
1	本村・筒井	R7. 10. 22	12その他	公民館でのeスポーツ	地域コミュニティを広げていく意味で、筒井地区でも行事も復活してやっているといるが、なかなか参加者が集まらない。公民館でのeスポーツの取り組みは人が集まっているか。	社会教育課	日頃から地域のコミュニティ活動に御尽力いただきありがとうございます。 令和7年度に、子どもの居場所づくりと、地域の多世代の交流促進を目的にeスポーツ機器を東・西・北公民館に導入しました。 現在、多くの子ども達が公民館を訪れ、eスポーツに対し抵抗を感じずにプレイしていますが、高齢者の皆様の中にはまだ敷居が高いと感じられる方もいらっしゃるようです。 そこで、高齢者の皆様にeスポーツに親しんでいただけるよう、高齢者大学等でeスポーツを通じた子ども達との交流事業への参加を呼びかけ、多くの方に交流会に参加していただいております。 さらに今後は、幅広い年齢層の方にeスポーツに親しんでいただくために、高齢者の皆様には健康や認知症予防に関連づけて参加を呼びかけ、子供たちには父母、祖父母や、地域コミュニティの一員として参加することに焦点を当てたイベントを企画するなど、多世代の皆様の参加意欲を高め、eスポーツ人口の拡大を図るとともに地域コミュニティの向上に努めていきたいと考えています。
2	本村・筒井	R7. 10. 22	12その他	筒井地区の民生委員の数	地区ごとの民生委員の数を確認したとき、筒井地区は他と比べて、人口が多いのに、民生委員の数が少なかった。	福祉課	御指摘のありました各地区の民生委員児童委員の人数の増減については、単に人口だけで決めるのではなく、各地区の民生委員児童委員の皆様の御意見をしっかりと伺いした上で判断したいと考えています。 なお、現在の人数については、令和7年度の民生委員児童委員の一斉改選に際し、定数を決定するために、各地域の民生委員児童委員の皆様から御意見を伺いました。その結果、定数の増加については、次のような御意見が寄せられました。 ・「民生委員児童委員が不足しているため、地域福祉に支障を来しているという具体的な問題は、現時点で発生していない」 ・「定数を増やしても、新たに引き受けてくれる人が見つからない」 これらの御意見を踏まえ、今回は定数の60名を変更しないことといたしました。 次回の一斉改選時においても、引き続き各地域の民生委員児童委員の皆様の御意見を伺い、地域の実情に即した適切な定数となるよう、国や県と協議を重ねてまいります。
3	本村・筒井	R7. 10. 22	01防災	要支援者名簿と個別避難計画	災害時に民生委員が中心になって独居老人を助けるのは限度がある。また、近くに住んでいる人しか独居老人を助けられないと思うが、ここに助けが必要な独居老人がいますというようなものは、もらえるのか。	福祉課	日頃から、地域の災害時の避難について、御尽力いただきありがとうございます。 災害時の避難の際に支援が必要で、平時からの名簿提供に同意されている方が掲載されている避難行動要支援者名簿については、大字及び各地域の民生委員児童委員にお届けしております。なお、特に支援が必要な人から順に、個別避難計画を作成しておりますが、こちらはなかなか進んでいないのが現状です。今後も、地域の皆様と一緒に「災害時に避難できる地域づくり」について、取り組んでまいりたいと思いますので、御理解と御協力をお願いいたします。 災害時には、地域のコミュニティの力が本当に大事になりますので、避難支援をする方も、必要とする方も、日頃から御近所の方など地域の皆様と顔の見える関係づくりを心掛けていただくことが大切だと思います。

	地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
4	本村・筒井	R7. 10. 22	01防災	災害時などの 聾者への対応	災害のときに聾者にはどうやって伝えるかが問題となるが、町には聾者の協会もない。県や市町村で手話言語条例もない。松山で条例策定の動きがあると思うので、町も追随してほしい。	福祉課	町としても、災害時の聾者（聴覚障がい者）の方への情報伝達は、大切な課題と受け止めております。 本町では、令和7年度から町独自で手話奉仕員養成講座を開催しています。 また、講座を修了した手話奉仕員の皆さんには、スキルアップ研修を開催するなど、専門性と実践力を維持・向上させるための仕組みを検討しています。 養成した手話奉仕員の皆様が、地域の中で活躍するだけでなく、災害発生時には避難所などで聾者（聴覚障がい者）の方を支える力となっていただけよう、地域防災の担い手として活躍できる体制づくりを進めてまいります。 今後は、手話奉仕員養成研修を継続的に実施し、地域で手話を使える人を増やすことで、手話が独自の言語であるという認識の下、聴覚障がいのある方々が地域でより快適に生活できる環境を整備していきたいと考えています。
5	本村・筒井	R7. 10. 22	11文化・歴史	義農神社の今後について	義農神社は今後どうなっていくのか。昔は遊んでいたが、今は老朽化していて危険である。	総務課	御指摘のとおり、義農神社は老朽化がすすんでおり、町としても重要な課題と受け止めています。 政教分離によりなかなか町は手が出せないところではありますが、老朽化して倒壊などの危険性が高い場合に何か手立てがないかを、顧問弁護士に相談をしております。 よい手立てができたときには、義農神社とゆかりのある新立・本村・筒井などの自治会にも相談の上で、進めて行きたいと思います。なお、義農神社に思い入れがある方もいらっしゃると思いますが、本当に大切にしていけるべきなのは義農精神です。 神社である以上、行政が手を出せないのも、次にもし作るのであれば、義農作兵衛の歴史や義農精神が分かるような、ちょっと休憩できるような場所を作ったほうがよいと思っています。
6	本村・筒井	R7. 10. 22	12その他	アーバンス ポーツパーク やアリーナの 将来	アーバンスポーツパークとアリーナの将来の見通しはどうか。	財政課	スポーツエンターテインメント構想の第一段階として、スケボーなどのアーバンスポーツができる施設に、子どもや高齢者の方も利用できるよう器具などを設置したアーバンスポーツパーク整備を発表しました。スポーツとまちづくりは親和性が高く、健康にもつながるものであると考えています。 この整備については公設民営を考慮しており、国の交付金や事業債を使うなど、町の持ち出しが少なくなるようにして、運営は民間が行うものを想定しています。 今後は検討会において、種目、場所、施設構造などを検討し、事業計画ができましたら運営可能な民間企業への声掛けなどを行ってまいります。 その先の第二段階としてアリーナ構想も併せて発表しました。町の予算規模で公設は困難であるため民間による投資を前提としており、町は開発許可などできるところでお手伝いをするということを考えています。
7	本村・筒井	R7. 10. 22	02道路・交通・建物	旧古城幼稚園の有効利用と 落ち葉	旧古城幼稚園の有効利用についてどう考えているか。また、落ち葉が多いのだが、昔は幼稚園の先生が掃除していたか、現在はどのように考えているのか。	学校教育課	旧古城幼稚園施設の有効活用について、御意見をいただきありがとうございます。 旧古城幼稚園施設については、不登校や行き渋りの子が学校に行けなくても社会とのつながりを持ち、外に出て人と関わることとをなくさないための子どもの居場所として、「（仮称）教育支援センター」を設置したいと考えています。 今年度、子どもに関わる関係者や専門家の方からどのような施設にするかお聞きした意見を基に、令和8年度に施設の改修工事の設計、工事を実施し、令和9年度に開設したいと考えています。 施設の落ち葉については、周辺の皆様方に御迷惑をお掛けしないよう学校教育課が責任をもって対応いたしますので、御理解くださいますようお願いいたします。

	地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
8	本村・筒井	R7. 10. 22	12その他	アーバンス ポーツパーク	松前中学校で武道場が使えないので、体育館で剣道や居合道をしている。アーバンスポーツパークを作るときに剣道などができる施設があればよい。	財政課 社会教育課	アーバンスポーツパークの整備については、これから検討会の中で構想を策定していくこととなりますが、既に多くの方々から様々な御意見・御要望をいただいております、本構想に対する期待の大きさを改めて認識しております。皆様からいただいた内容につきましては、構想を策定するための貴重な御意見として検討会の中で共有させていただきます。 検討会での議論は、安全性、地域との共生、持続可能性、需要や効果など、多岐にわたる視点から慎重に行われることになります。そのため、御提案いただいた種目の導入を確約するものではないことを、あらかじめ御理解いただけますようお願いいたします。 また、現在、夜間や休日に北伊予中学校、岡田中学校の武道場は一般開放しており、剣道をすることができますので、御利用いただきたいと思います。
9	本村・筒井	R7. 10. 22	12その他	デイサービス みどり、喫茶 みどりの今後	デイサービスみどりや喫茶みどりがなくなったが、今後どのようにしていくのか。	健康課	デイサービスみどりや喫茶みどりが入居していた本町福祉センターは町有の施設ですが、社会福祉協議会が使用し、管理運営をしていました。これらについては、社会福祉協議会の経営計画に基づき閉鎖となりました。 なお、喫茶コーナーの継続を希望される利用者の皆様からのお声を他にも頂いており、町としても、このようなお声を真摯に受け止めております。 喫茶コーナーの運営の有無も含め、社会福祉協議会が撤退して空きスペースとなる本町福祉センター施設の利活用について、住民の社会福祉の増進や地域福祉活動の拠点として利便性の向上につながるよう、民間事業者の知恵もお借りしながら検討したいと考えています。
10	本村・筒井	R7. 10. 22	02道路・交通・建物	デマンドタクシーの継続	デマンドタクシーについては、実証実験で終わらずに進めてほしい。	財政課	町としても、地域の公共交通の充実は、大切な課題と受け止めております。 御指摘のとおり、町では、本年10月から12月までの3カ月間、デマンドタクシーの実証運行を実施しています。町内であれば、自宅から目的地まで直接移動できる仕組みで、利用料金は、一人1回当たり400円に設定しています。 この料金で事業者が継続的に運営できるか、公費の支援が必要か、運行方法に改善点があるか検証し、令和8年度の本格導入を目指してまいります。
11	本村・筒井	R7. 10. 22	12その他	町の奨学金の創設について	町での奨学金についての考え方はあるか。	子育て支援課	町が貸し付ける奨学金制度はありませんが、愛媛県に奨学金制度がありますので、御相談があった場合はそちらを御案内しています。 また、奨学金の返還支援については、令和5年度からえひめ人口減少対策総合交付金を活用し、愛媛県と連携して、松前町出産世帯奨学金等返還支援補助金を創設し、経済的負担の軽減を図っておりますので、お気軽に子育て支援課まで御相談ください。